



らぶっく La・BOOK

11月号

No.65

堀金図書館の

絵本わくわく講座

堀金図書館では、10月5日に第2回絵本わくわく講座「まんまるお月さまの絵本と工作・体操」（講師：おはなしつむぎいと）を開催しました。



絵本の読み聞かせやまんまるの風船が色々なものに変身するペープサートの盛り込まれたおはなし会でした。その後は、自分だけの手作りおもちゃ工作を楽しみ、体操では親と子で生き生きと心も体もリフレッシュしました。



企画展示

館内企画として、「クマ」の生態を知る資料や「ツキノワグマ」と「ヒグマ」の大きさを知る展示を行っています。「今話題のおすすめ本」や「秋の味覚」に関する展示本もよく読まれています。



次回の絵本わくわく講座

「Story Time 英語のおはなし会」
平成29年11月28日（火）
10時30分～11時30分（先着10組）

中央図書館

奮闘!?調べもの日記(レファレンス)

穂高のわさびの本はありますか？



今年もこの季節がやってきました。小学校の宿題のレファレンスです。

わさびのどのようなことが知りたいのか聞くと、皆が頭を傾げてしまう。「わさびのことを調べてきて下さいと言われた」と

の答えが返ってきました。

図書館にある本は研究的なものが多いため、子ども向けの本は少ないのです。簡単にすべてが集結された『わたしたちの安曇野』がおすすめです。

児童書の百科事典と植物図鑑、薬用植物図鑑にも載っているのですが、借りていく児童が多かったです。『安曇野のわさび』も良い本なのですが小学校低学年には漢字が多いかなと思って、心配して差し出してみましたが、これもなかなか良かったとの言葉を頂きました。

<関係資料>

- 『わたしたちの安曇野』 安曇野市教育会社会科資料編集委員会／安曇野市教育会 2008年
- 『野菜と果物』 板木利隆／小学館 2013年
- 『安曇野のわさび』 関東農政局長野統計情報事務所大町出張所／長野県農林統計協力会 1994年
- 『薬になる植物図鑑』 増田和夫／柏書房 2006年
- 『安曇野わさびレシピ』 安曇野市商工会・安曇漬物組合／安曇野市商工会・安曇漬物組合 2013年
- 『安曇野市の統計』 安曇野市政策部情報統計課／安曇野市 2017年

私と図書館

三郷中学校 年 務台 結月

私は小さい頃から本がとっても好きでした。特に小説が好きで、図書館をたくさん利用しています。

私が小説に目覚めたのは、小学二年生の頃、絵本ばかり読んで飽きてしまった時に、友達からある小説を勧められました。物事を想像しながら読むことが面白くて、私はつい一気に読んでしまいました。それから図書館に行く機会が増え、調べ物をしたり勉強をしたりする時にも利用する、なくてはならない場所になりました。

しかし、中学生になって図書館に行く回数が減ってしまいました。その理由は、時間がないから、部活で疲れているからなど色々ですが、今こうやって考えてみると、小さい頃の読書の楽しさを忘れてしまったように思えます。なので忙しい今こそ読書の楽しさを思い出し、たくさん本に触れたいです。



10月貸出ランキング

一般書

- 1 九十歳。何がめでたい／佐藤愛子
- 2 人魚の眠る家／東野圭吾
- 3 恋の Gondola／東野圭吾
- 〃 火花／又吉直樹
- 5 あたしんち 2／けらえいこ
- 〃 片想い／東野圭吾
- 〃 騎士団長殺し 第2部／村上春樹
- 〃 希望荘／宮部みゆき
- 〃 この世の春 上／宮部みゆき
- 〃 素敵な日本人／東野圭吾
- 〃 コーヒーが冷めないうちに／川口俊和
- 〃 マスカレード・ナイト／東野圭吾

児童書

- 1 バムとケロのおかいもの／島田ゆか
- 〃 ぴょーん／まつおかたつひで
- 3 いないないばあ／松谷みよ子
- 〃 かいけつゾロリイシシ・ノシ大ピンチ!!／原ゆたか
- 〃 かいけつゾロリの王子さまになるほうほう／原ゆたか
- 〃 サンドイッチサンドイッチ／小西英子
- 〃 しろくまちゃんのほっとけーき／わかやまけん
- 8 あっちゃんあがつく／みね よう
- 〃 あっぴっぴ／中川ひろたか
- 〃 おつきさまこんばんは／林 明子 他多数

AV資料

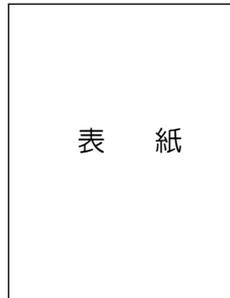
- 1 岳／片山 修監督
- 2 コクリコ坂から／宮崎吾朗監督
- 3 井上陽水 ゴールデン・ベスト／井上陽水
- 〃 君たちがいて僕がいた／鷹森立一監督
- 〃 黒部の太陽／熊井 啓監督
- 5 図書館戦争／佐藤信介監督
- 〃 ねぎぼうずのあさたろう 巻之6／飯塚好原作 他多数

中央図書館から

本のソムリエ(職員)おすすめ本

一般書 『ファミリーポートレイト』

桜庭一樹／講談社



母の名前はマコ、娘の名前はコマコ。ある日、若く美しい母が言った。「逃げるわよ」。過酷な逃亡生活の中でコマコは育ち、文字を覚え、物語と出会う。しかしやがて追手が迫り・・・2人の逃避行の行方とは。ゆがんだ愛情でつながる母娘の物語。

壮絶な過去を持つ少女はどのようにして生きていくのか、コマコの人生に注目です。

児童書 『みみかきめいじん』

かがくいひろし／講談社



耳かきの名人ひょ・うーたん先生が、次々と来るお客さんに耳かきをしてあげます。お客さんはみんなとても気持ちがよさそう。

弟子のひょうすけはそのお手伝いで、先生に言われて「みみかき草」をせっせととってきます。色々なお客さんと色々な「みみかき草」が出てきますが、中には……。

耳かきをしてもらうって、とても気持ちがいいと思える絵本です。

秋の読書週間 図書館職員のおすすめ本を読もう！

「**コメントルー**」を、10月28日(土)～12月21日(木)に行います。

期間中に、各館(三郷図書館を除く)に展示してあるおすすめ本を借りて、おすすめコメントをお書きください。書いていただいた方には、プレゼントを進呈します。



編集・発行・お問い合わせ



- | | |
|-------|----------|
| 中央図書館 | ☎84-0111 |
| 豊科図書館 | ☎71-4022 |
| 三郷図書館 | ☎76-3078 |
| 堀金図書館 | ☎72-3601 |
| 明科図書館 | ☎62-1122 |

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho>

※編集後記※
 市民タイムス「本の
 ある生活」(10/18)
 の中に「眼福」という
 言葉がありました。
 意味は「珍しいもの、
 美しいものなどを見る
 ことのできた幸せ」と
 あります。
 この秋、読書週間の
 標語は「本に恋する季
 節です！」となってい
 ます。そんな一冊に出
 会い、こころゆくまで
 眼福にあずかり
 たいものです。

